

「は、多くの人に未  
東泰孝マネージャーは  
く座ってもらいた  
「情報館のログハウス  
と話しした。同パー  
の雰囲気じびったり」

とお礼を述べた。  
(田子蒼樹)

# 部下の育児理解を

## イクボスの重要性解説

でー  
子ミナ  
米セ



イクボスについて解説する篠田理事長

「部下の育児参加に理解のある上司」(イクボス)について知ってもらおうセミナーが15日夜、米子市錦町1丁目ふれあいの里で開かれ、NPO法人ファザリング・ジャパン関西の篠田厚志理事長(36)がイクボスの重要性について解説した。鳥取県西部中小企業青年中央会(竹ノ内賢一郎会長)の翔女委員会(吉田通代委員長)が、男女共同参画の実

現に向けて開催。会員や市民ら115人が参加した。

篠田理事長は「イクボスと企業 女性活躍社会の実現にむけて」と題して講演。「イクボスとは、部下やスタッフのワークライフバランスを考え組織の業績も結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむ上司で、働き方や価値観が多様化する中で新しいマネジメンが求められている」と説明した。その上で「自己開示や他者を受容できる環境を作ることは、会社にも各個人にもメリットになる」と指摘した。竹ノ内会長は「女性が活躍するには男性の

## 認知症予防や対処策学ぶ

### あす、米子で「サミット」

参加無料

市民フォーラム「第6回認知症サミット鳥取in米子」(実行委員会主催)が18日午後1時から、米子コンベンションセンター国際会議室で開かれる。認知症専門医の講演や、ケアに当たる人たちの意見発表を通じて、予防対策や患者との向き合い方を学ぶ。参加無料。

鳥取大医学部の浦上克哉教授が「認知症予防のできる地域づくり」、医療法人・社会福祉法人「真誠会」の小田貢理事長が「地域包括ケアシステムとこれからの認知症対策」と題してそれぞれ講演。

認知症の人と家族の会鳥取県支部の吉野立代表ら3人が「オレンジカフェ(認知症カフェ)の活動報告」をテーマに体験論を述べ合う。

問い合わせは電話080(5232)6606、真誠会セントラルクリニック(米子市河崎)内の実行委。

意識改革が必要。一歩一歩を進めたい」と話し、  
「一歩イクメンやイクボスを進めたい」と話し  
(高塚直人)

## 親伝わる みさん展



前に立つ綾木さん

岩絵の具を重ねた上に金箔を張る技法を用いたり、菩薩や蘭、舞妓など多彩な題材を選ぶなど物語性を感じさせ、日本画の世界観や岩絵の具の魅力が伝わ